



自転車での地域活性化を目指して —宇都宮ブリッツェンとマザータウン協定締結—

8月27日、TKCいちごアリーナで、市とプロサイクルロードレースチーム・宇都宮ブリッツェンとのマザータウン協定締結式が開催されました。式には宇都宮クリテリウムを3連覇した小野寺玲選手(かぬまふるさと大使)も参加し、会場を盛り上げました。

練習のために鹿沼に頻繁に訪れているブリッツェンを応援したいという、本市の思いが、本協定の契機となりました。今後は、自転車を通じた事業の共同開催等により、地域活性化を推進していきます。

1年前の経験乗り越え、災害に備える

—自治会・消防団による土のうづくり実践—

8月2日、旧粟野第二小学校で、中栗野自治会と消防団11分団3部の協働で土のうづくりの実践を行いました。

昨年の「令和元年東日本台風」により、大きな被害を受けた中栗野地域。その経験を踏まえ、地域住民の皆さんが、消防団員の指導の下、土のう袋の縛り方や効果的な積み方などを学びました。熱心に取り組む姿からは、地域の防災力の力強さが感じられました。



防災力を強固なものに

—災害に関する協定締結—

株式会社デベロップ・鹿沼市
災害時における宿泊施設等の提供に関する協定締結



東京電力パワーグリッド株式会社栃木支社
災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定締結



市は、8月21日に(株)デベロップと「災害時等における宿泊施設等の提供に関する協定」を、9月1日に東京電力パワーグリッド(株)栃木総支社と「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」を締結しました。

災害の危険性が増す昨今、市はこれからも自治会や団体、民間企業との協力体制の整備を推進し、防災力の向上を図っていきます。

江戸時代から続く文化を後世へ

—明治安田クオリティオブライフ文化財団から 尾出山神社関白流獅子舞保存会へ助成金贈呈—

8月27日、市役所で、明治安田クオリティオブライフ文化財団から尾出山神社関白流獅子舞保存会への助成金の贈呈式が行われました。

本財団は、地域の伝統文化の保存維持などを目的に活動しており、今回、市の無形民俗文化財である「尾出山神社関白流獅子舞」が対象に選ばれました。助成について、「道具も傷んできているのでありがたい」と感謝を述べた保存会の萩原会長。助成金は太鼓の修繕に使用されます。

